



謹賀新年

笠間市長 山口伸樹

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市政運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。新年にあたり、本年の抱負を申し上げます。

◆市民生活向上の「新」施策

昨年は、衆議院選挙による政権交代、事業仕分けなど国政が大きく変化した年でした。また、世界的には米国のバマ大統領の誕生、新型インフルエンザの感染拡大など「新」が大きな話題となった年でもありました。笠間市での「新」を考えると、教育の分野では、小中学校の英語指導助手増員による「語学力向上事業」や補修授業を行う「寺子屋事業」をスタートさせました。また、岩間中学校の新校舎が完成し、友部第二小

学校体育館の耐震補強工事にも着手しております。

市民の健康に関しては、24時間年中無休で、電話による健康・医療の相談を行う「かさま健康ダイヤル²⁴」を導入しました。また、新型インフルエンザ対策として、公立小中学校や幼稚園等の教室への加湿器の設置や、妊婦への予防接種を無料で行う市独自の施策など、安心して生活できる環境づくりに力を入れてきました。また、緊急経済対策では、コミュニティ助成事業として地区集会所の改修や備品等の整備を促進し、エコタイプの防犯灯の新設・交換に努めてまいりました。

さらに、権限移譲により「バスポートセンター」が市役所本所に開設され、市民に身近な事務サービスが実現しています。

このように昨年は市民生活の向上を目指した「新」施策を展開した1

年でありました。

◆躍進するまちづくりの年に

本年は、いよいよ合併5年目を迎え、市の基礎づくりや統一化から、今後は躍進する市政施策に取り組みでいきたいと考えています。

行政運営の基本として、行財政改革の断行により事務事業の見直しなどに取り組み、効果的・効率的な行政サービスと健全な行財政運営を図ってまいります。

また、重点施策としては、少子化対策、農業対策、そして新たに地域医療・福祉対策に積極的に取り組んでまいります。

少子化対策では、一昨年より「かさまっ子プロジェクト」として保育料軽減事業や子育て支援センターの設置、妊婦への助成など子育ての負担軽減を主とした事業を展開してまいりました。今後多様化する保育

需要に対応するため「次世代育成支援対策事業」を推進し、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを推進してまいります。

また、農業対策では、引き続き、「クラフト農業プロジェクト」として、経営安定化農業、環境保全型農業、地産地消、グリーンツーリズムの施策、特に「笠間の栗」のブランド化戦略として加工品の開発に取り組んでまいります。

市の地域医療については、市立病院や県立病院、さらには民間医療施設が群在している状況にあり、これらのネットワークづくりや、国の医療保険制度見直し、県の医療福祉対策に関連する施策、健康づくりなどを含め、さまざまな視点から地域医療体制の整備と医療福祉対策に取り組んでまいります。

本年は笠間藩士の小野友五郎が、日米修好通商条約批准書交換のため勝海舟らとともに咸臨丸に乗り込み、使節としてアメリカに派遣されてから150年目にあたります。新市にとっても本年は、節目の年でありま

す。職員一丸となって「文化交流都市」を目指し、大海原に漕ぎ出してまいります。最後に、今年1年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。私の新年のあいさつといたします。